

# ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2011年12月

## コミッティ活動

**Accounting:** 担当 森田 ([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

ISDA は IASB でのヘッジ会計と金融資産と金融負債の相殺ルールに関する最新の議論内容を回覧した。IASB は、一般的なヘッジ会計に関する再審議を終え、見直し後のドラフトを 2012 年前半に、最終基準を 2012 年後半に発表する予定。新しいヘッジ会計ルールは本邦会計の今後の議論に影響を与えると思われる。詳細については 2 月のコミッティで検討される予定。

**Regulatory:** 担当 森田 ([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

ISDA はニューヨーク連邦準備銀行の関係者と、清算機関を通じた清算、取引情報蓄積機関など OTC デリバティブ取引に関する規制動向と市場のインフラ整備、ポートフォリオコンプレッションや定期的なリコンシリエーションなどの業界の動きについて意見交換を行った。

### CCP DMP Working Group

12 月 5 日、ワーキンググループのメンバーは引き続き、清算会員が破綻した場合の破綻処理について検討を行った。焦点は、1) 非破綻会員について、深刻な金融危機下において、一定の期間は破綻社数に関わらない債務の上限設定を行うこと、2) 秩序だったポジション清算、退会の為の退会規則、及び 3) CCP が業務を継続するための事前の規則。メンバーはこれら 3 点に関して意見書を作成し、当局と清算機関に提出することに同意した。

**Credit Derivatives:** 担当 難波 ([knamba@isda.org](mailto:knamba@isda.org))

### Japan Determinations Committee

12 月 12 日、ISDA は、1) アサヒビール株式会社、2) 株式会社 CSK について、それぞれ承継事由に関する質問に対する Japan DC の決議を公表した。DC 決議は ISDA ウェブサイト(<http://www.isda.org/credit/>)上にて閲覧可能となっている。

## コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

CCP Default Management Process (DMP) Working Group (日本語による会議)	2012 年 1 月 5 日
Documentation Committee (日本語による会議)	tbc
Credit Derivatives Conference (日本語によるコンファレンス)	2012 年 2 月 2 日
Collateral Initiatives Symposium (英語によるシンポジウム)	2012 年 2 月 6 日